

重要取組シート

健康福祉局 保健所
感染症対策課

取組項目	新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン接種事業を含む。）
現状・課題	<p>本市における累計感染者数・・・78,991人(令和4年5月30日時点) 本市における死亡者数・・・483人(令和4年5月30日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民の生命を守るためには、感染者数を抑え、医療提供体制や社会機能を維持することが重要。 ●従来よりも感染力が強く、重症化しやすい可能性がある変異株の感染拡大を防止する必要がある。 ●感染者数の急増に伴い、医療病床がひっ迫し、自宅療養者数が急増することから支援体制の強化は必要。 ●感染力の高い変異株の出現により、高齢者の感染、重症化が課題。特に高齢者施設等クラスターが発生し、早期介入による重症化予防が重要。 ●令和3年12月から、新型コロナワクチンの2回目接種を完了した18歳以上の方を対象に追加（3回目）接種を実施（4月から12歳以上に対象拡大）。 ●令和4年3月から、新型コロナワクチンの小児（5～11歳）接種を実施。
取組の内容	<p>世界では、新型コロナウイルス克服のため、現在ワクチン接種が進んでいる。次のステップである特效薬が開発され、世界が新型コロナを抑え込むまでは、コロナによる感染拡大防止のため、以下のことに取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変異株の出現による市中感染が広がる可能性が高いことから動向を注視する。 ●感染状況に応じて弾力的に業務効率化や体制見直しを図りながら、適時適切な体制を維持する観点から、積極的疫学調査の徹底、検査実施、療養支援など府と連携した医療体制確保、保健所機能の強化などに取り組む。 ●医師による健康相談、看護師の訪問による重症化予防や早期対応、民間救急救命士による患者搬送、自宅療養応援パックなど自宅療養者への支援体制を強化する。 ●高齢者施設クラスターや自宅療養にも対応する医療提供体制の構築に取り組む。 ●新型コロナワクチンの接種を希望する対象者が接種を受けられるよう、引き続き医療機関や集団接種会場などでの接種（初回接種、追加（3回目）接種、小児接種）に取り組む。 ●国において検討されている新型コロナワクチンの4回目接種など、今後、国から接種に関する新たな指示があった場合には速やかに対応し、必要な接種体制を確保する。
スケジュール	<p>前期（～7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 接種を希望する対象者に新型コロナワクチンの接種（初回接種、追加（3回目）接種、小児接種）を実施（4月～） <input type="checkbox"/> 積極的疫学調査の徹底、医療体制確保、保健所業務効率化、入院調整効率化、療養支援強化、検査体制の充実など（年間取組） <input type="checkbox"/> 変異株検査の実施（令和4年3月～） <input type="checkbox"/> 医療従事者の勤務前検査の実施（感染拡大期） <input type="checkbox"/> 高齢者施設等クラスター往診事業の構築（令和4年3月～） <input type="checkbox"/> 就業制限・入院勧告・医療費公費負担申請等の管理業務委託 <input type="checkbox"/> アプリを活用した療養支援連絡の実施 <input type="checkbox"/> 平時における高齢者施設等の感染制御に関する実地指導

	中期 (～11月)			
	後期 (～3月)			
	次年度 以降	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスに対するワクチン、治療薬の開発や普及状況等に応じた、国・府と連携した感染拡大防止策を実施するとともに、適切な医療提供体制を持続可能なものとする。		
進捗の状況	前期 (～7月)	<input type="checkbox"/> 積極的疫学調査の徹底、医療体制確保、保健所業務効率化、入院調整効率化、療養支援強化、検査体制の充実など（年間取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 国及び府の方針をふまえ、陽性者への健康観察等の実施（4月～） ・ 民間救急事業者と連携した、患者搬送体制の強化（7月～） ・ 市内医療機関等と連携して診療・検査体制を確保・充実（4月～） ・ 協力医療機関から診断時にパルスオキシメーターを配付（5月～） 		
		<input type="checkbox"/> 変異株検査の実施（令和4年3月～） <ul style="list-style-type: none"> ・ 変異株検査の実施（4月～7月： <u>376</u> 件） 		
		<input type="checkbox"/> 医療従事者の勤務前検査の実施（感染拡大期） <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査の実施（4月～7月： <u>48</u> 件） 		
		<input type="checkbox"/> 高齢者施設等クラスター往診事業の構築（令和4年3月～） <ul style="list-style-type: none"> ・ 往診事業の構築（令和4年3月～5月） ・ 往診体制の確保・往診実施（6月～） 		
		<input type="checkbox"/> 就業制限・入院勧告・医療費公費負担申請等の管理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託内容の精査、委託仕様書等の作成（4月～7月） 		
		<input type="checkbox"/> アプリを活用した療養支援連絡の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ SMS（ショートメッセージサービス）を活用した療養支援連絡の実施（5月～） 		
		<input type="checkbox"/> 平時における高齢者施設等の感染制御に関する実地指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者施設等への実地指導の実施（7月～） 		
		<input type="checkbox"/> 昨年度に引き続き、個別接種会場及び集団接種会場（医療機関・地域会場）を設置し、ワクチンの1・2回目接種、追加（3回目）接種、小児接種を実施（4月～）		

□ ワクチンの追加接種（4回目）の実施（5月～）

接種率（令和4年7月末現在）

	1回目	2回目	3回目	4回目
	5歳以上		12歳以上	18歳以上
接種率	81.5%	81.0%	63.3%	9.0%

※接種率は、ワクチン接種記録システム（VRS）の記録に基づき算出

中期
（～11月）

- 積極的疫学調査の徹底、医療体制確保、保健所業務効率化、入院調整効率化、療養支援強化、検査体制の充実などの継続実施（年間取組）
 - ・国及び府の方針をふまえ、陽性者への健康観察等の実施（4月～）
 - ・民間救急事業者と連携した、患者搬送体制の強化（7月～）
 - ・市内医療機関等と連携して診療・検査体制を確保（4月～）
 - ・協力医療機関から診断時にパルスオキシメーターを配付（5月～）
 - ・パルスオキシメーター・自宅療養等応援パックの配送体制を強化（8月～）
 - ・HER-SYS等入力・療養証明書事務・陽性者受電業務の外部委託を開始（9月～）
 - ・保健所受電体制強化のため、専従のスタッフ（人材派遣）を採用（9月～）
- 変異株検査の継続実施（令和4年3月～）
 - ・変異株検査の実施（8月～11月： 609 件）
- 医療従事者の勤務前検査の継続実施（感染拡大期）
 - ・検査の実施（8月～11月： 33 件）
- 高齢者施設等クラスター往診事業の継続実施（令和4年3月～）
 - ・往診体制の確保・往診の継続実施（6月～）
- 就業制限・入院勧告・医療費公費負担申請等の管理業務委託
 - ・管理業務委託の開始（10月～）
- アプリを活用した療養支援連絡の実施
 - ・SMS（ショートメッセージサービス）を活用した療養支援連絡の継続実施（5月～）
 - ・LINEを活用した情報提供「LINE コロナ相談」を開始（8月～）
- 平時における高齢者施設等の感染制御に関する実地指導
 - ・高齢者施設等への実地指導の継続実施（8月～9月）
- 小児（5歳から11歳）対象のワクチンの追加（3回目）接種の実施（9月～）

- オミクロン株対応ワクチン接種の実施（9月～）
- ワクチンの乳幼児（生後6か月から4歳）接種の実施（11月～）

接種率（令和4年11月末現在）

	1回目	2回目	3回目	4回目	オミクロン株 対応ワクチン
	生後6か月以上			12歳以上	
接種率	79.5%	79.1%	61.6%	37.3%	15.2%

※接種率は、ワクチン接種記録システム（VRS）の記録に基づき算出
3回目・4回目の接種率にはオミクロン株対応ワクチン接種者数を含む。

後期
（～3月）

- 積極的疫学調査の徹底、医療体制確保、保健所業務効率化、入院調整効率化、療養支援強化、検査体制の充実などの継続実施（年間取組）
- ・国及び府の方針をふまえ、陽性者への健康観察等の実施（4月～）
 - ・市内医療機関等と連携して診療・検査体制を確保（4月～）
 - ・協力医療機関から診断時にパルスオキシメーターを配付（5月～）
 - ・民間救急事業者と連携した、患者搬送体制の強化（7月～）
 - ・パルスオキシメーター・自宅療養等応援パックの配送体制を強化（8月～）
 - ・HER-SYS等入力・療養証明書事務・陽性者受電業務の外部委託を開始（9月～）
 - ・保健所受電体制強化のため、専従のスタッフ（人材派遣）を採用（9月～）
 - ・自宅療養者の健康観察体制強化（安否不明者の状況確認委託）（12月～）
 - ・年末年始及び冬季における新型コロナウイルス、インフルエンザ同時流行に備えた医療提供体制の確保（地域の医療機関との連携、臨時発熱外来の強化、往診体制の確保等）（12月～）
- 変異株検査の継続実施（令和4年3月～）
- ・変異株検査の実施（12月～3月： 410 件）
- 医療従事者の勤務前検査の継続実施（感染拡大期）
- ・検査の実施（12月～3月： 7 件）
- 高齢者施設等クラスター往診事業の継続実施（令和4年3月～）
- ・往診体制の確保・往診の継続実施（6月～）
- 就業制限・入院勧告・医療費公費負担申請等の管理業務委託
- ・管理業務委託の開始（10月～）
- アプリを活用した療養支援連絡の実施
- ・SMS（ショートメッセージサービス）を活用した療養支援連絡の継続実施（5月～）
 - ・LINEを活用した情報提供「LINEコロナ相談」を開始（8月～）

		<input type="checkbox"/> 小児（5歳から11歳）対象のワクチンの追加（3回目）接種の実施 （9月～3月。3月からはオミクロン株対応ワクチンを使用。）						
		<input type="checkbox"/> オミクロン株対応ワクチン接種の実施（9月～3月）						
		<input type="checkbox"/> ワクチンの乳幼児（生後6か月から4歳）接種の実施（11月～3月）						
		接種率（令和5年3月末現在）						
			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	オミクロン株 対応ワクチン
			生後6か月以上			12歳以上		
	接種率	79.6%	79.2%	63.3%	45.6%	25.0%	43.4%	
		※接種率は、ワクチン接種記録システム（VRS）の記録に基づき算出 3回目・4回目・5回目の接種率にはオミクロン株対応ワクチン接種者数 を含む。						
2025	堺市基本計画 該当する 施策	2-(2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実						
	寄与する KPI	-					目標値（2025年度）	
		-						
未来都市計画	堺市SDGs 最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	すべての人に健康と福祉を					
	寄与する KPI	3	健康寿命 [現状値：(男)71.46年、(女)73.60年 (2016年)]				目標値（2023年度）	
							(男)73.20年 (女)76.20年	